

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	農地等国土保全事業
事業主体 (連絡先)	栄村 (産業建設課 産業振興係 0269-87-3113)
事業区分	(1) 地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ハード
総事業費	2,920,698円 (うち支援金: 1,640,000円)

事業内容

・原材料支給事業…集落等の要望により、改修が必要な農道及び用排水路等について、村が原材料を支給し集落で施行する。(受益者は15%の負担金)  
用排水路 L=約613m  
農道舗装 V=33 m<sup>3</sup>



【生コン打設状況】

事業効果

農道を整備することにより、ほ場への大型機械の進入が可能となり、農地荒廃の拡大を抑えることができる。また、用排水路の整備は、その維持管理作業の軽減とかんがい排水を確実に行うことができる。これら農業生産基盤を整備することにより、山間地の水田のもつ多面的な機能が維持、発揮され、また、生産性が向上することにより農業の担い手確保につながる基盤ができた。

【目標・ねらい】

- ① 耕作放棄地の抑制
- ② 共同化等による農業振興
- ③ 維持管理作業の軽減
- ④ 意欲向上と農業収益の増加

自己評価【 A 】

【理由】

事業箇所及び支給する原材料等の変更があったが、農道舗装及び水路の整備により、維持管理の省力化が実現した。

今後の取り組み

これらの事業は、集落及び農家の分担金や役務を伴うことから、事業の規模や必要性、優先性が主体的に判断されることになり、事業完了後の利用度や満足度が非常に高い。来年度以降も要望等があるので、限られた予算ではあるが、事業効果等照らし合わせながら実施していきたい。天災による災害がないことを願っている。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある